

Minami Kyushu University Syllabus								
シラバス年度	2021	開講キャンパス		宮崎キャンパス	開設学科		健康栄養学部	
科目名称 [英語名称]	教育の方法と技術 [Educational Methods and Technique]				実務経験 教員担当	○	アクティブ ラーニング	○
科目コード	750066	授業形態	講義	単位数	2	配当学年	3年次	
教員氏名	上池 恭廣				学位授与の方針 との関連	DP1(1)(2),2(1)(2)		
授業概要	<p>文部科学省は、「学校現場における諸課題の高度化・複雑化により、初任段階の教員が困難を抱えており、養成段階における実践的指導力の育成強化が必要」とし、教員養成課程において、教師の質を高める指導が必要としています。このことから本科目の授業を下記の目的で実施します。</p> <p>目的)本科目は、教員を志望する学生に、学校教育における教育の方法及び技術に関する知識・技能を身に付けることを目的とし、具体的には宮崎県の高校教育現場で農業教育31年間の経験を基に「授業力」「学級経営力」「子供への対応力」の3つの要素を「大学の学部の養成段階において身につけたい力」として実施します。具体的には、①授業に必要な技術(講義形式、アクティブラーニング、グループワーク・実験学習)などをテーマに応じて学ぶ。②学級経営をする上での資質能力。③子供への対応、子供と教師との距離感等について学びます。加えて授業の実践として自分でテーマを決めプレゼンテーション形式で模擬授業を行います。</p>							
関連する科目	農業科教育法、理科教育法							
授業の進め方と方法	<p>・毎回授業の始めに過去の教員採用試験の問題を、個人又はグループで考え発表させます。・授業ではグループワークを取り入れて課題解決を図ります。「グループワークにて協議した内容は、学生による プレゼンテーションにて発表させます。」・学生の皆さんの主体性を育成するため、アクティブラーニング型の授業を展開します。グループで考え発表させます。・授業ではグループワークを取り入れて課題解決を図ります。「グループワークにて協議した内容は、学生による プレゼンテーションにて発表させます。」・学生の皆さんの主体性を育成するため、アクティブラーニング型の授業を展開します。</p>							
授業計画	<p>1回: 教職を履修するにあたってのオリエンテーション、ガイダンス、心構え 授業の基本的な進め方について確認及び高校教師31年間の経験をベースにした授業を展開します。 教職に関する心構え等に関するアンケート実施</p> <p>2回: 教職に関するアンケート結果報告(理想とする教師像、求められる教師像)・模擬授業の進め方</p> <p>3回: 農業教育の現状と課題(農業と農業教育について)</p> <p>4回: 授業の形態(一斉授業、集団授業、個別授業、)</p> <p>5回: 求められる授業づくり～子どもの主体性を重視した教育への転換(アクティブラーニング授業の進め方)</p> <p>6回: 授業の基本的な技術①～話し方・板書の仕方～</p> <p>7回: 授業の基本的な技術②～教材・教具・情報機器の活用～</p> <p>8回: 授業の基本的な技術③～グループワークの基本～</p> <p>9回: 授業の基本的な技術④～実験学習・体験学習・調べ学習(図書室・ITの活用) デュアルシステム(学びながら働く、働きながら学ぶ)の紹介</p> <p>10回: 授業計画～学習指導案の活用～</p> <p>11回: 授業における評価～生徒評価～</p> <p>12回: 教師としての心構え(教師のコンプライアンスとは)</p> <p>13回: 模擬授業(目指す教員免許の対象学年へプレゼンテーション形式で模擬授業を実施) 相互評価、自己評価</p> <p>14回: 模擬授業(目指す教員免許の対象学年へプレゼンテーション形式で模擬授業を実施) 相互評価、自己評価</p> <p>15回: まとめ～新しい教育へ～</p>							
授業の到達目標	<p>1)本授業は、教育の方法と技術に関する基礎的な知識を知り、加えてそれらを用いて実践できるようになることを到達目標とする。</p> <p>2)これからの社会を担う子供達に求められる資質・能力を育成するために必要な教育の方法を理解する。</p> <p>3)教育者としての心構え、教師の資質を養うと併に教育の目的に適した指導技術を理解し身につける。</p> <p>4)農業の現状とこれからの農業教育の在り方を理解する。</p>							
授業時間外の学修	<p>・授業の最後に次の授業内容を提示します。次の授業までに確認してください。</p> <p>・ホームプロジェクトとして、自分の家で作物の栽培をさせます。そしてその結果をプレゼンテーション形式で児童・生徒に教えるという模擬授業を行います。栽培する作物等を後期の授業開始日までに決定しておいて下さい</p>							
課題に対するフィードバック	小テスト、レポート、模擬授業は評価後、返却及び解説をします。			評価方法	<p>・感想文・レポート:30点 ・模擬授業(プレゼン、発表要旨):50点 ・最終レポート:20点</p>			
テキスト	配布資料を毎回配布する							
参考書	中学校学習指導要領 高等学校学習指導要領 新しい時代の教育の方法 ミネルヴァ書房							
備考	・農業高等学校勤務31年間の実務経験を有する教員が授業を担当します。 ・最終テストは模擬授業と最終レポートに振り替えます。							